

ミクロン精密 株式会社

会社説明会資料



本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

蔵王とミクロン精密 静かな環境が精度を育む



会社概要

- ◇事業内容 : 心なし研削盤(センタレスグラインダ)
内面研削盤(インターナルグラインダ)
その周辺装置の製造、販売
- ◇社 是 : 技術と人柄
- ◇社員数(連結) : 210名
- ◇平均年齢(単体) : 39.5歳
- ◇業績(連結) : 売上高: 6,222百万円
2007年11月期 経常利益: 939百万円
(第48期) 当期純利益: 485百万円



柄 人 柄 技

【技術と人柄】

ものづくりはひとづくり、
そして感動のステージへ

当社の歴史

2000	● 2007/09 中小型研削盤組立工場(南工場)落成	■ 2008 生産6000台到達見込
	● 2006/12 中部サテライト落成(名古屋営業所移転)	
	● 2003/07 ドイツにMicron Europe GmbHを設立	
	● 2000/03 内面研削盤開発	■ 2001 生産5000台到達
1990	● 1998/04 ハイテクノロジーセンター落成 (ナノオーダーの加工精度を目指す)	■ 1994 生産4000台到達
	● 1989/02 米国 CATERPILLAR 社に初納入 ● 1988/06 米国にMICRON-U.S.A., INC. を設立 ● 1987/06 米国 AUTOCAM 社に初納入 ● 1980/08 日本電装株式会社(現:株式会社デンソー)に初納入	■ 1988 生産3000台到達 ■ 1980 生産2000台到達
1980	● 1978/01 トヨタ自動車工業株式会社(現:トヨタ自動車株式会社)に初納入	
1970	● 1968/05 社名をミクロン精密株式会社に変更 ● 1966/12 株式会社東洋ベアリング(現:NTN株式会社)、日本精工株式会社に初納入 ● 1963/04 株式会社不二越 に初納入 ● 1961/10 中川精機製造株式会社として発足	■ 1969 生産1000台到達
1960	● 1958/09 中川精機株式会社山形工場として創業	

1ミクロンの大きさ(ミクロン精密の社名の由来)

髪の毛の1/100

髪の毛
0.1mm

MICRON
0.001mm

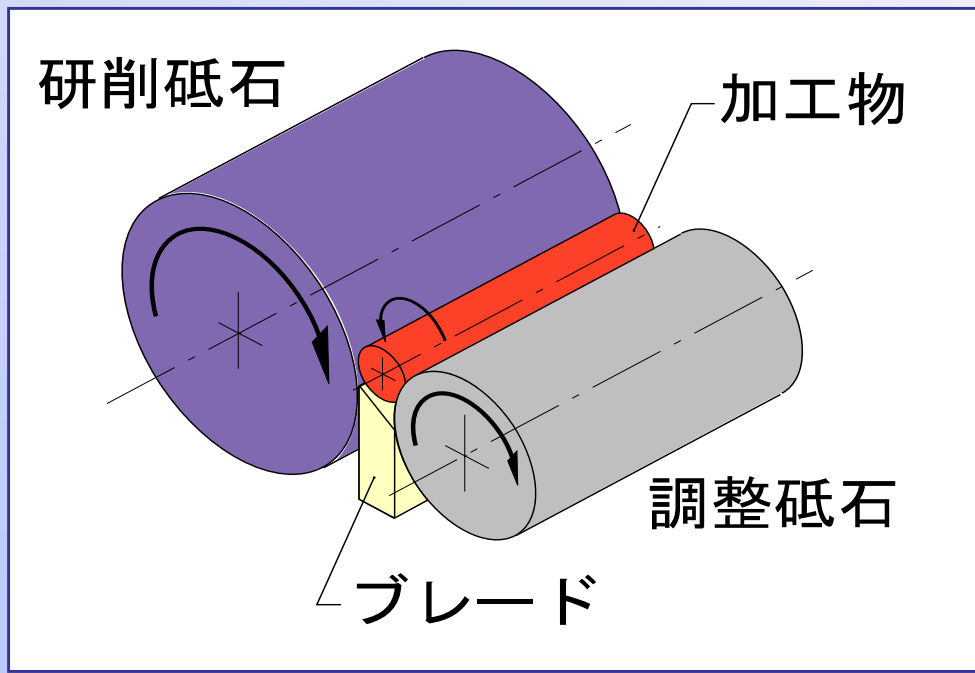
当社の製品で研削される加工事例



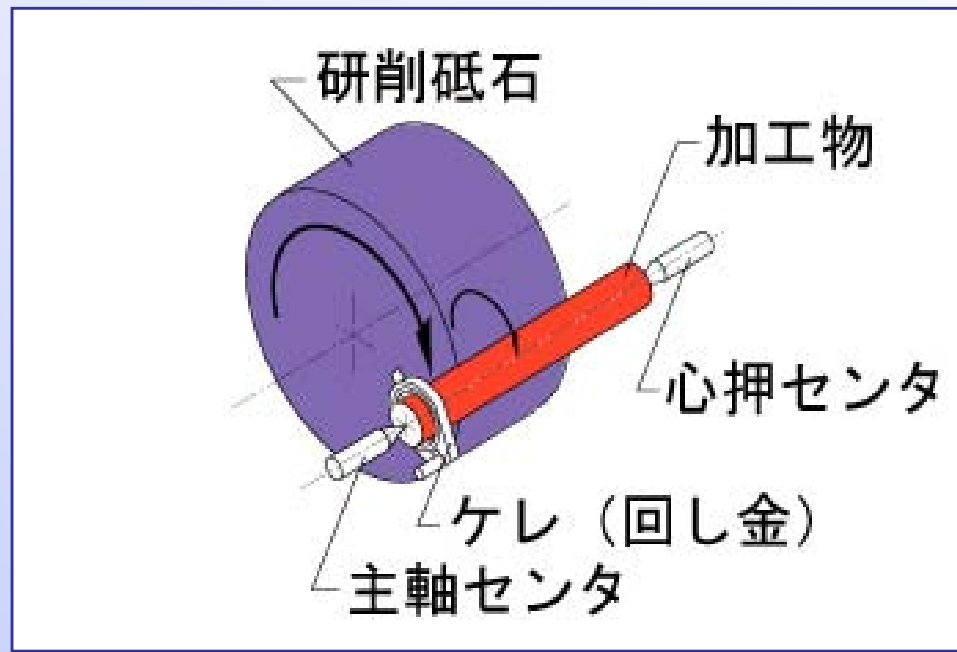
製品紹介 心なし研削盤

●心なし研削盤

丸棒やリング形状の素材に種々の加工を施す工作機械



心なし研削

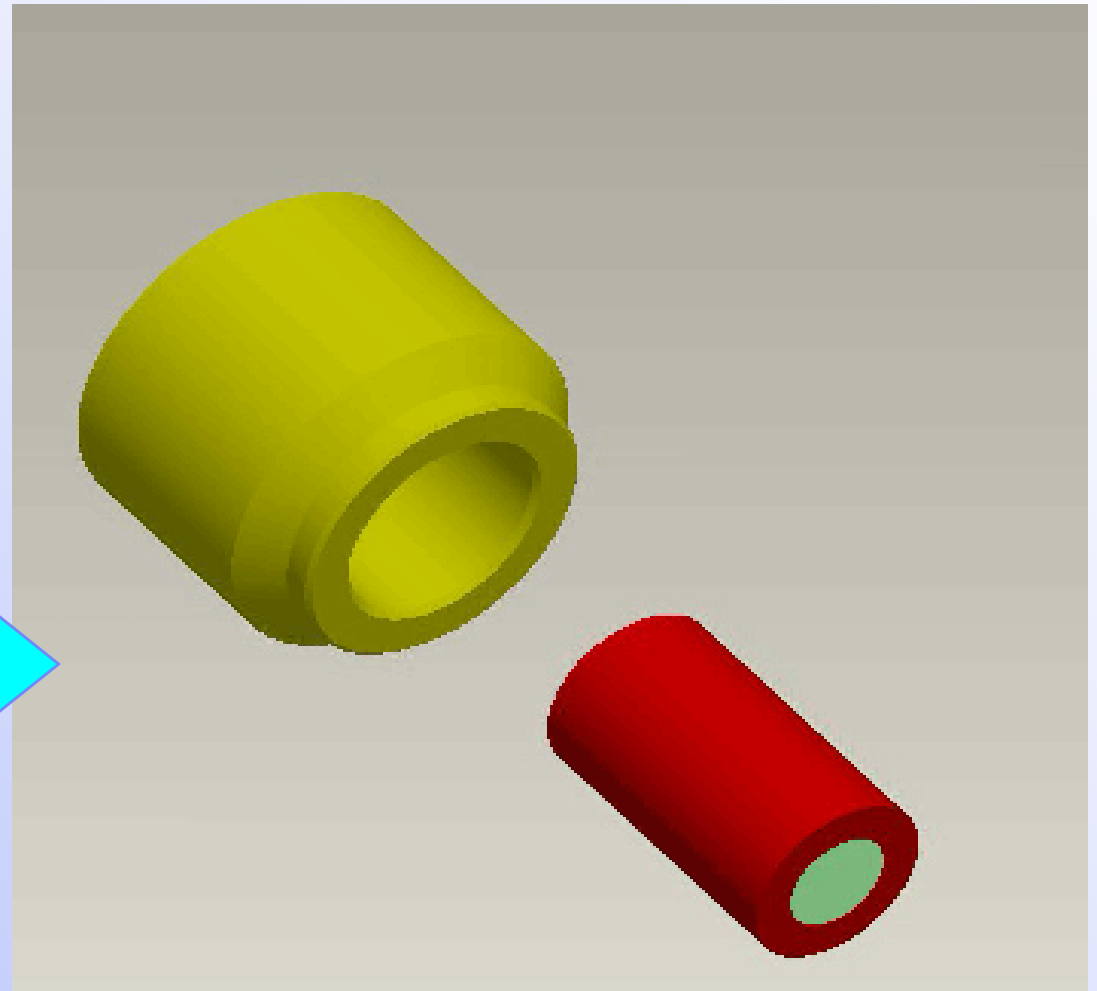
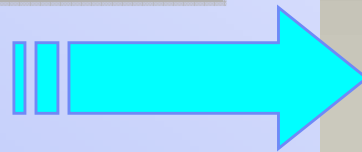
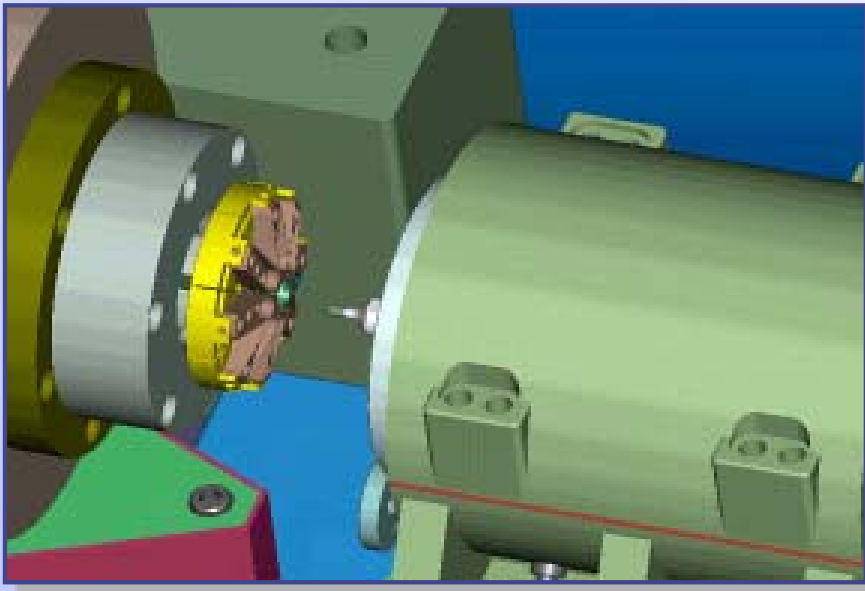


円筒研削

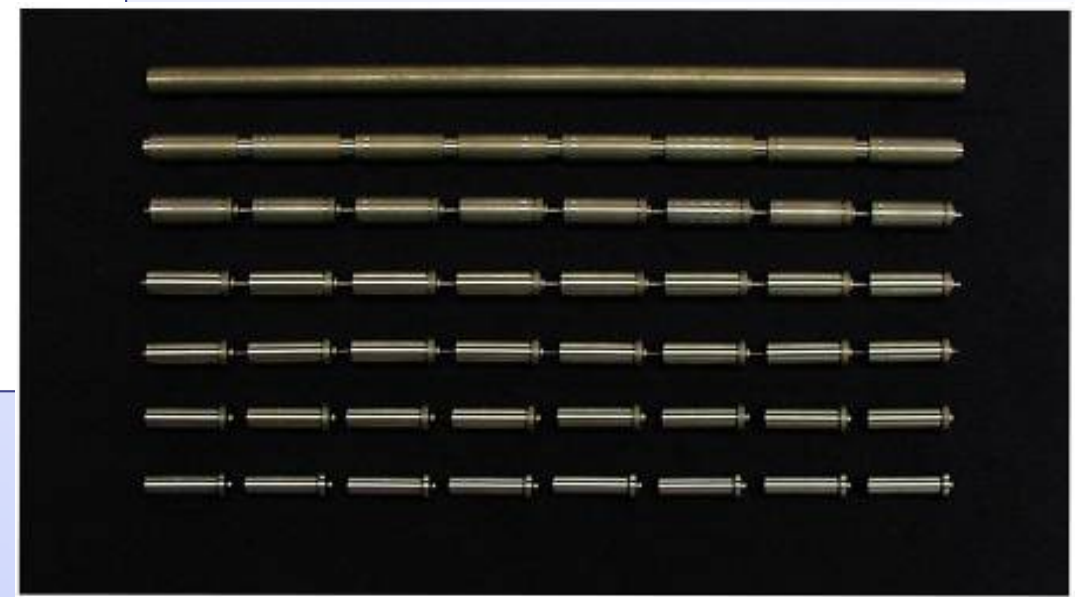
製品紹介 内面研削盤

●内面研削盤

円筒及びリング形状の加工物の内周面に種々の加工を施す工作機械



マルチフォーム研削を活かして

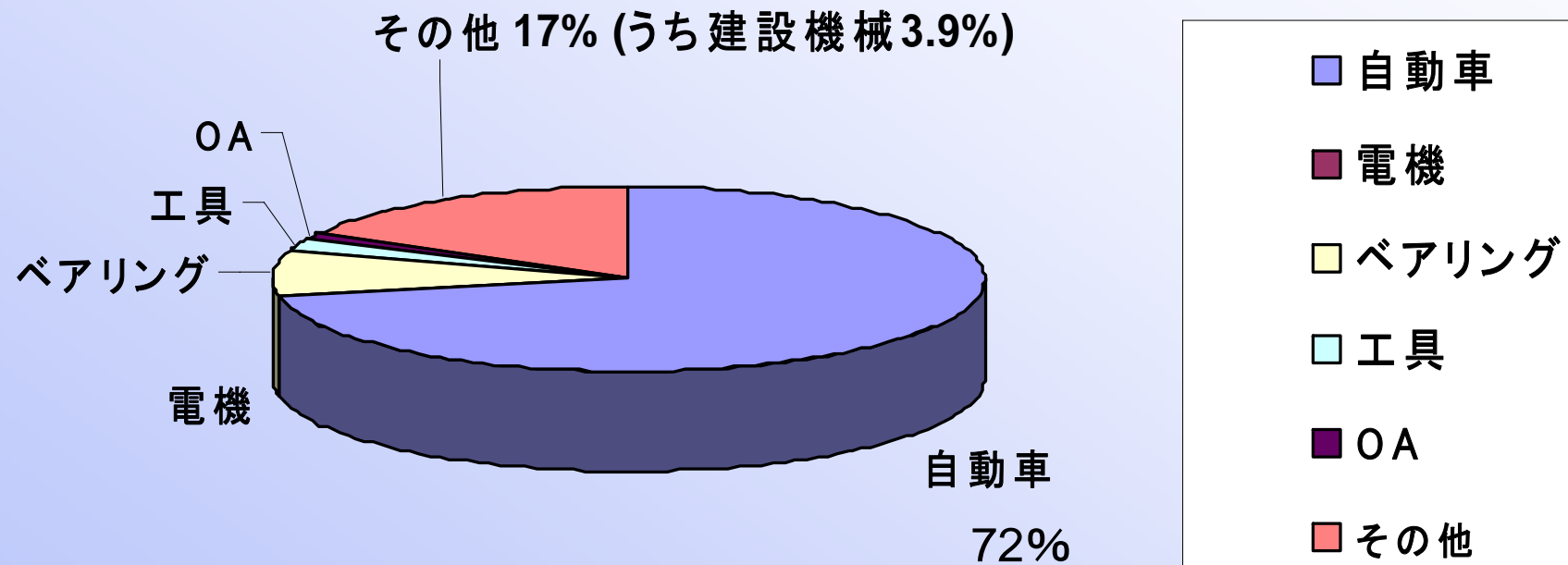


心なし研削盤 MPC-600 II

1本の素材丸棒から加工物を切断し多数個取りする、1回の加工で得られる加工物数を従来よりも増やすことが可能となり、より高い生産性を実現。

業種別売上比率

2007年11月期



2007年11月実績 損益計算書(連結)

(百万円)

	2006年11月期 実績		2007年11月期 実績		前期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	5,903	100.0 %	6,222	100.0 %	+5.4 %
売上総利益	1,929	32.7 %	1,842	29.6 %	-4.5 %
販売費及び一般管理費	964	16.3 %	1,010	16.2 %	+4.7 %
営業利益	964	16.4 %	832	13.4 %	-13.8 %
経常利益	1,042	17.7 %	939	15.1 %	-9.9 %
当期純利益	609	10.3 %	485	7.8 %	-20.3 %
1株当たり配当金	38.00円		40.00円		

売上高につきましては、心なし研削盤は横ばいながら、内面研削盤の大幅増があり、5.4%増加となりました。販売費及び一般管理費の増加につきましては、主にユーザー向けの新技术開発による研究開発費が増加したことによるものであります。また、満期による保険解約返戻金があったものの、上記理由により経常利益も減少し、特別損失の発生により、当期純利益が減少しました。

2008年11月期業績予想 損益計算書(連結)

(百万円)

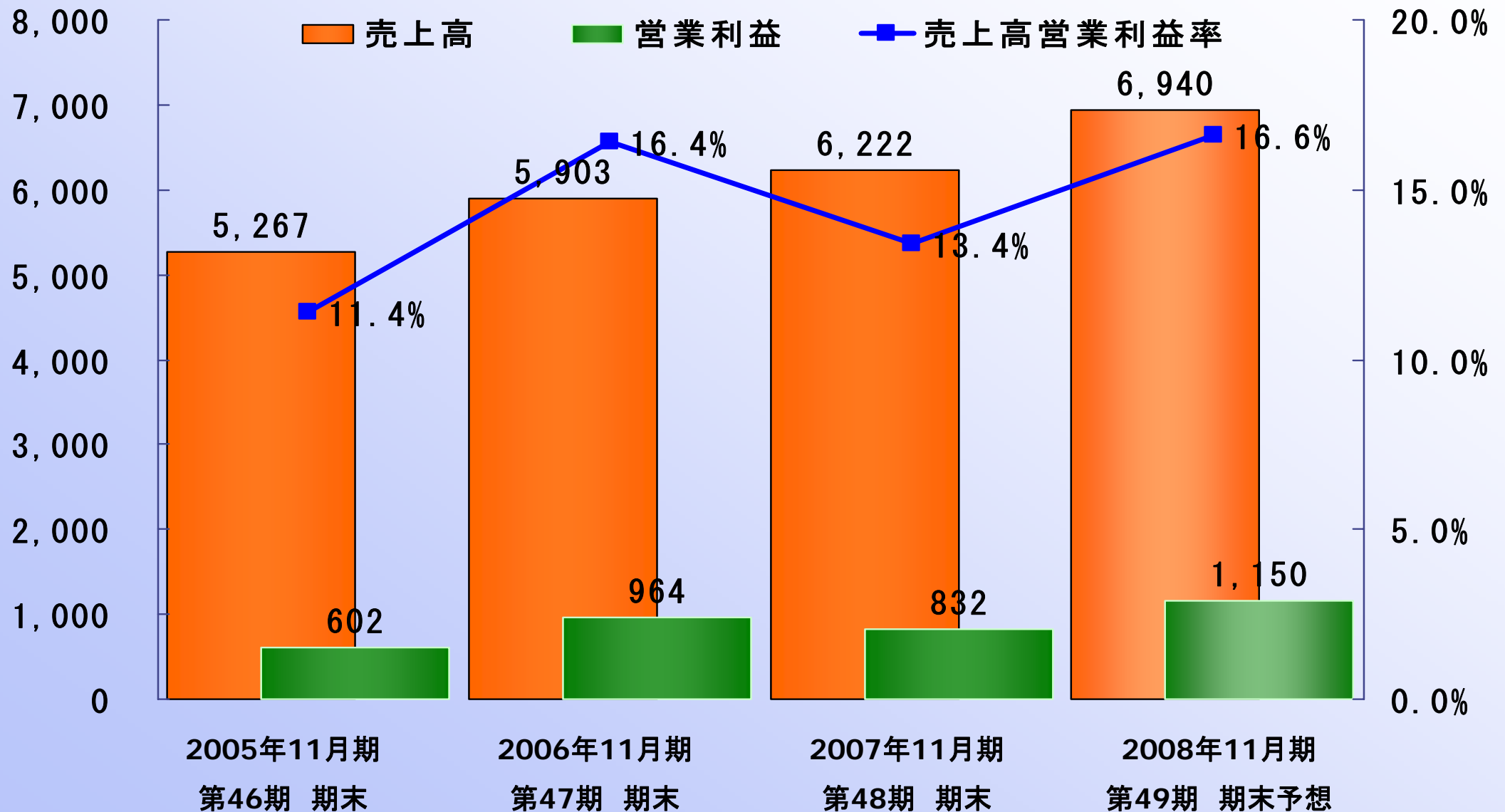
	2007年11月期実績			2008年11月期予想		
		百分比	前期からの 伸び率		百分比	前期からの 伸び率
売上高	6,222	100.0 %	+5.4 %	6,940	100.0 %	+11.5 %
売上総利益	1,842	29.6 %	-4.5 %	2,145	30.9 %	+16.4 %
販売費及び一般管理費	1,010	16.2 %	+4.7 %	995	14.3 %	-1.5 %
営業利益	832	13.4 %	-13.8 %	1,150	16.6 %	+38.3 %
経常利益	939	15.1 %	-9.9 %	1,253	18.1 %	+33.4 %
当期純利益	485	7.8 %	-20.3 %	695	10.0 %	+43.0 %

売上高につきましては、主需要先である自動車関連業界における、優れた燃費効率による競争力の優位性を目指した設備投資が今後も見込まれることや、他業界におきましても、環境問題に対応するさまざまな需要が見込まれることから、対前期比11.5%増の69億40百万円となる見込みであります。営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の減少が見込まれることから、対前期比38.3%増の11億50百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、このような状況から対前期比43.0%増の6億95百万円となる見込みであります。

売上高の推移<通期>

(単位：百万円)



中期経営計画

1. 世界一のものづくりと技術開発
2. 競争力を高める事業展開
3. 時代を先取りする
マネジメントシステムと人づくり

1. 世界一のものづくりと技術開発 新機種開発

心なし研削盤

MCG-500SIO

外径および内径を1工程で同時に研削できる内外径同時研削盤。

2007年、更なる精度向上とコスト低減を実現。

自動車のエンジンの部品加工設備では、従来1個あたり300秒かけて加工していた工程を、1個あたり45秒と、加工時間を約1/6に短縮。



1. 世界一のものづくりと技術開発 新機種開発

内面研削盤

1つのチャックで多工程を加工できる内面研削盤。
冷却システムを搭載し熱変位を抑え安定性を向上。高精度加工を実現。

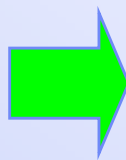


MIG-101WS3G

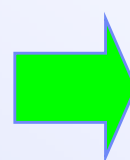
2. 競争力を高める事業展開

生産能力の向上～中小型研削盤組立工場稼動開始

2007年9月
落成



生産効率向
上



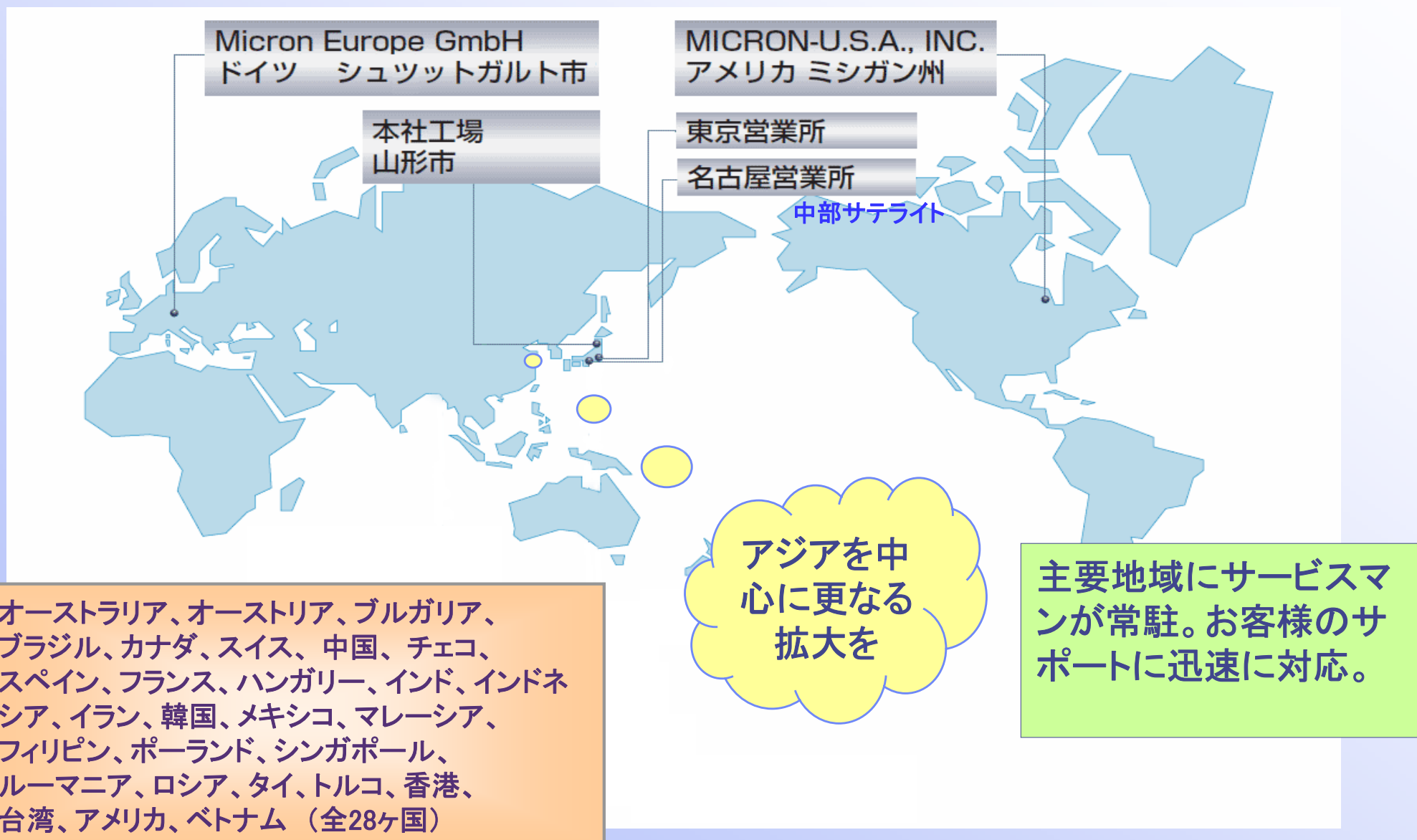
短納期化の実現へ



新工場見学会開催（2007年11月16日、17日）
市川昭男 山形市長（中央）を案内する弊社社長 白田（右）

2. 競争力を高める事業展開

世界三極体制でワールドワイドにフォロー



3. 時代を先取りするマネジメントシステムと人づくり

静かな環境が精度を育む～蔵王に根ざし生産する

粘り強いと言われる県民性を活かした技術の伝承

キサゲ作業



砥石軸ユニットの組付け作業



●将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

問い合わせ先 管理部

電話 :023-688-8112

FAX :023-688-8545

<http://www.micron-grinder.co.jp>

